



## 2021年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2020年8月7日

上場会社名 新家工業株式会社  
コード番号 7305 URL <https://www.araya-kk.co.jp>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 井上 智司  
問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長 (氏名) 浜田 哲洋

TEL 06-6253-0221

四半期報告書提出予定日 2020年8月7日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2021年3月期第1四半期の連結業績(2020年4月1日～2020年6月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第1四半期	8,914	13.7	176	41.7	156	55.6	29	84.5
2020年3月期第1四半期	10,325	1.7	302	33.4	353	36.9	187	51.4

(注) 包括利益 2021年3月期第1四半期 348百万円 (295.6%) 2020年3月期第1四半期 88百万円 (57.9%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期 純利益
	円銭	円銭
2021年3月期第1四半期	5.21	
2020年3月期第1四半期	33.69	

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第1四半期	45,200	24,809	51.3
2020年3月期	46,166	24,823	50.3

(参考) 自己資本 2021年3月期第1四半期 23,171百万円 2020年3月期 23,202百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円銭	円銭	円銭	円銭	円銭
2020年3月期		0.00		65.00	65.00
2021年3月期					
2021年3月期(予想)					

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2021年3月期の配当予想については、未定であります。

### 3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

2021年3月期の連結業績予想につきましては、現時点で新型コロナウイルス感染症拡大による業績への影響を合理的に算定することが困難であるため、未定としております。業績予想の開示が可能になった時点で、速やかに開示いたします。

## 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
以外の会計方針の変更 : 無  
会計上の見積りの変更 : 無  
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年3月期1Q	6,045,326 株	2020年3月期	6,045,326 株
期末自己株式数	2021年3月期1Q	475,880 株	2020年3月期	475,880 株
期中平均株式数(四半期累計)	2021年3月期1Q	5,569,446 株	2020年3月期1Q	5,571,061 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、世界経済が新型コロナウイルスの影響により停滞するなか、国内においても、経済活動の低迷から需要は減少し、景気悪化を招きました。

このような情勢のもと鋼管業界におきましても、コロナ禍の影響から自動車関連等製造業の一部では生産調整や生産休止の動きがみられました。この他、建築関連では、首都圏を中心に大型物件には動きがあるものの、中型・小型の物件は延期や中止が散見された一方で、物流倉庫関連などは堅調に推移しております。

普通鋼製品につきましては、物流関連は底堅く、住宅関連では落ち込みも比較的緩やかであるものの、自動車関連におけるコロナ禍の影響は大きく、売上高・利益共に大幅に落ち込んでいます。

ステンレス鋼製品につきましては、比較的堅調であった食品・飲料、製薬、水処理関連向けの需要が鈍化し、販売は低迷しております。また、原材料についても、需要の減少から原材料メーカーでは生産調整などの動きがみられ価格は弱含み傾向にあります。

当社グループといたしましては、このような厳しい経営環境の中、製品の安定供給に努め、主力の鋼管事業を中心に様々な顧客ニーズに柔軟かつ迅速な対応を図るよう積極的な営業展開を実施するとともに、設備稼働率の向上とコスト削減に努力しました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は8,914百万円（前年度比13.7%減）、営業利益176百万円（前年度比41.7%減）、経常利益156百万円（前年度比55.6%減）となり、親会社株主に帰属する四半期純利益は29百万円（前年度比84.5%減）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### (資産)

当第1四半期連結会計期間末の総資産は45,200百万円となり、前連結会計年度末に比べ966百万円減少しました。流動資産は26,716百万円となり1,235百万円の減少となりました。これは主に、受取手形及び売掛金の減少710百万円であります。固定資産は18,483百万円となり268百万円の増加となりました。これは主に、投資有価証券の増加322百万円であります。

#### (負債)

当第1四半期連結会計期間末の負債合計は20,390百万円となり、前連結会計年度末に比べ952百万円減少しました。流動負債は15,045百万円となり2,351百万円の減少となりました。これは主に、支払手形及び買掛金の減少990百万円、短期借入金の減少841百万円であります。固定負債は5,345百万円となり1,399百万円の増加となりました。これは主に、長期借入金の増加1,471百万円であります。

#### (純資産)

当第1四半期連結会計期間末の純資産は24,809百万円となり、前連結会計年度末に比べ13百万円減少しました。これは主に、その他有価証券評価差額金の増加224百万円と利益剰余金の減少332百万円であります。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

今後の見通しにつきましては、中国など一部に経済再開の動きはあるものの、新型コロナウイルスの感染拡大の影響で世界経済が深刻化するなか、国内経済も、幅広い業種でその影響を受けており、経営環境は厳しい状況が続くものと思われます。

鋼管業界におきましては、ウイルスの感染拡大第2波が懸念される状況のなか、自動車関連等製造業に操業再開の動きが見られるものの、建設関連、設備投資の計画見直し等により鋼管製品の急激な回復は見込めない状況にあります。さらに、ウイルス問題が長期化すれば、さらなる落ち込みも懸念される状況にあります。

当社グループでは、新型コロナウイルス感染拡大防止に努めるとともに、主力の鋼管製品を中心に引続き提案型営業の推進と固有の製品開発に重点を置き、グループ企業間の連携を強化し、関西工場を中心とした鋼管事業の生産体制の再編に注力し、一層のコストダウンを推し進めることで、経営基盤の更なる安定化を図り、効率的な生産・販売活動を行ってまいります。

2021年3月期の連結業績予想につきましては、現時点で新型コロナウイルス感染症拡大による業績への影響を合理的に算定することが困難であるため、未定としております。業績予想の開示が可能になった時点で、速やかに開示いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	7,874	7,760
受取手形及び売掛金	8,615	7,904
電子記録債権	3,634	3,467
商品及び製品	5,669	5,569
仕掛品	543	408
原材料及び貯蔵品	1,378	1,360
その他	304	313
貸倒引当金	△67	△67
流動資産合計	27,951	26,716
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	5,170	5,074
土地	4,645	4,594
その他（純額）	2,471	2,504
有形固定資産合計	12,287	12,173
無形固定資産	153	244
投資その他の資産		
投資有価証券	5,252	5,574
退職給付に係る資産	13	—
その他	508	490
貸倒引当金	△0	△0
投資その他の資産合計	5,773	6,065
固定資産合計	18,214	18,483
資産合計	46,166	45,200

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	7,674	6,684
電子記録債務	1,398	1,365
短期借入金	5,231	4,390
1年内返済予定の長期借入金	—	73
未払法人税等	108	71
賞与引当金	383	214
事業構造改善引当金	247	247
その他	2,353	1,999
流動負債合計	17,397	15,045
固定負債		
長期借入金	1,050	2,521
役員退職慰労引当金	40	30
環境対策引当金	19	19
退職給付に係る負債	2,130	2,056
資産除去債務	7	7
その他	697	709
固定負債合計	3,945	5,345
負債合計	21,343	20,390
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	3,940	3,940
資本剰余金	4,171	4,171
利益剰余金	15,436	15,103
自己株式	△695	△695
株主資本合計	22,853	22,520
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,301	1,526
繰延ヘッジ損益	—	△0
為替換算調整勘定	△460	△405
退職給付に係る調整累計額	△493	△469
その他の包括利益累計額合計	348	651
非支配株主持分	1,620	1,637
純資産合計	24,823	24,809
負債純資産合計	46,166	45,200

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年6月30日)
売上高	10,325	8,914
売上原価	8,564	7,374
売上総利益	1,761	1,539
販売費及び一般管理費	1,458	1,363
営業利益	302	176
営業外収益		
受取利息	0	3
受取配当金	73	51
仕入割引	6	4
その他	20	15
営業外収益合計	101	75
営業外費用		
支払利息	7	8
売上割引	7	6
為替差損	23	73
その他	11	7
営業外費用合計	50	95
経常利益	353	156
特別利益		
固定資産売却益	2	0
特別利益合計	2	0
特別損失		
固定資産除却損	3	0
特別損失合計	3	0
税金等調整前四半期純利益	351	155
法人税、住民税及び事業税	28	43
法人税等調整額	102	59
法人税等合計	131	102
四半期純利益	220	53
非支配株主に帰属する四半期純利益	32	24
親会社株主に帰属する四半期純利益	187	29

四半期連結包括利益計算書  
第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
四半期純利益	220	53
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△187	224
繰延ヘッジ損益	△0	△0
為替換算調整勘定	33	46
退職給付に係る調整額	20	24
その他の包括利益合計	△132	294
四半期包括利益	88	348
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	53	331
非支配株主に係る四半期包括利益	34	16

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

(セグメント情報)

I 前第1四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	鋼管関連	自転車 関連	不動産等 賃貸	計				
売上高								
外部顧客への売上高	10,055	149	118	10,323	2	10,325	—	10,325
セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—	—
計	10,055	149	118	10,323	2	10,325	—	10,325
セグメント利益又は損失 (△)	249	△23	99	325	0	326	△24	302

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、機械設備・福祉機器の製造販売であります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額は、棚卸資産の調整等によるものであります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	鋼管関連	自転車 関連	不動産等 賃貸	計				
売上高								
外部顧客への売上高	8,667	109	132	8,909	4	8,914	—	8,914
セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—	—
計	8,667	109	132	8,909	4	8,914	—	8,914
セグメント利益又は損失 (△)	96	△14	112	194	1	195	△19	176

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、機械設備・福祉機器の製造販売であります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額は、棚卸資産の調整等によるものであります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。